

■ 1 . 講義

□ 講義名 情報システム設計

□ 担当 経営学部 助教授 井戸 伸彦

メールアドレス：ido@gifu-keizai.ac.jp

web サイト：<http://www.gifu-keizai.ac.jp/~ido/>

(授業で配布した資料の他、電子掲示板があります)

居室：10号館4階402

電話：0584-77-3597 (Java ルーム：77-3577)

□ 曜日・教室 月曜・木曜2限(10:50~12:20)

第4情報実習室(9号館3階)

□ 月曜指定授業日 1月23日(火)

(この日は大学全体で月曜日の授業を行います。)

■ 2 . 講義の目的(シラバスより)

不確かなところなく、明確に定義されたプログラミング言語。これを用いてプログラムを書いていくと、何も不思議なことは起こらず、実行させれば書かれた通りにそれは動く。ところがプログラムが大きくなってくると、深く不可解な森に迷い込んだような状況に陥る。...この授業では、そんな事態を回避する方法を学びます。皆さんの“プログラムを上手に書けるようになりたい”という気持ちから出発して、UMLを中心とした設計技法を習得し、題材とするシステムの設計を完成することを目標とします。

■ 3 . 受講上の留意点(シラバスより)

・Javaプログラミングの基本を習得済みであることが受講の条件となります。すなわち、WSプログラミングが履修済みであるか、もしくは、次の資料相当の知識を自習にて習得済みであることが条件です。

http://www.gifu-keizai.ac.jp/~ido/doc/java/java_text.pdf

・授業にて行うJavaプログラミングについていけない場合は、受講をお断りする場合がありますので注意してください。

・本講義は「情報システム設計」に読み替えることができます。

Javaでなく、C++を勉強したことのある方もOKです。

「Javaを勉強しながらこの授業を取ろう」と考えている方は、それは不可です。

■ 3 . 講義の予定

変更する可能性があります、おおよそ次のような予定を考えています。

第1~2回 統合開発環境 eclipse によるJavaプログラミング

第3~10回 PADによる構造化プログラミング

第11~12回 テスト・ファースト

第13~14回 再帰的プログラム

第15~19回 状態とデータ

第 20 ~ 24 回 オブジェクト指向プログラミングと UML

第 25 ~ 26 回 ソフトウェア開発工程と設計

第 27 ~ 28 回 構造化分析・設計法と DFD (Data Flow Diagram)

■ 4 . 成績評価

- ・ 出席点 2 点 / 回 × 30 回 = 60 点
- ・ 提出物 4 点 / 回 × 10 回 = 40 点
- ・ ボーナス：授業全体に有意義な発言・質問等を行った受講者には、その程度により加点します。
一本：5 点、技あり：3 点、有効：1 点

授業の妨げとなる行為に対しては、厳しく対応します。授業中の度を過ぎた私語や携帯電話の使用、関係のない Web サイトの閲覧もこれに含まれます。イエローカード無しの一発レッドカードで、単位の取得を認めないことにしています。

なお、この授業では私の他の授業に比べて、厳しく成績評価を行います。休みの多い人は不合格確定ですので、注意してください。2 ~ 3 回続けて休んだ場合、もう駄目だと思ってください。

■ 5 . 教科書

教科書は用いません。毎回、プリントを配布します。

■ 6 . Java

この授業では、プログラミングでは Java を使用します。皆さんの家庭の PC にも、Java は簡単にインストールすることが出来ます。興味のある方は勉強してみても如何でしょうか？インストール方法は次のページにあります。

http://www.gifu-keizai.ac.jp/~ido/manual/windows_text/man_win_j2sdk.pdf

(井戸の Web サイトの “ マニュアル ” のページにリンクがあります。)

■ 7 . その他

皆さん、毎日大学に来て下さい。本講義がある月曜日・木曜日はもちろんのこと、出来る限り毎日大学に来ましょう。本講義は朝 10 時 50 分からで、遠方から通っておられる方には辛い場合もあるかも知れません。掛け替えのない若いこの時期に、受講者の皆さんが学生生活を謳歌されることを切に祈っています。そのためには、大学に来ることが必ずやプラスになると信じます。受講者の皆さんが、恋愛や友情、快樂や求道、その他もろもろの関心事により忙しいことは理解出来ます。しかしながら、それらの関心事は、まっとうな勉学を続ける生活の風景の中でこそ、充実した輝きを放ちます。学校をサボって、その分よく遊んでいるという例は少なく、実際には “ 寝たきり学生 ” になってしまう例がほとんどです。たまに授業をサボって川べりでトランジスタラジオを聴く解放感はいいものですが、いつもサボってばかりいる人はその感覚を味わえません。

私、井戸は、新しい気持ちで受講者の皆さんと一緒に本講義を盛り上げていくつもりです。よろしくお願いします。

- 以上 -